

地域を支える 変える 高知大 17

創立75周年

一年の中で最も降水量が多くなる6～9月。近年、局地的な豪雨をもたらす「線状降水帯」という言葉をよく耳にするが「実は分からない点が多く、事前予測が難しい」と話すのは高知大学理工学部の村田文絵准教授(48)。「分からないからこそ面白い。事例を一つ一つ記録・分析し大雨のメカニズムを解明したい」と意気込んでいる。

線状降水帯の解明に挑む



減災へ 気象庁と共同研究

一口に大雨と言っても原因はさまざま。気温、湿度、大気安定度、風などが複雑に絡み合っています。台風や温帯低気圧による大雨はスーパーコンピュータである程度予測できます。しかし線状降水帯は、どういった状況で発生し、いつまで停滞するのか詳細なメカニズムは分かっていません。

線状降水帯は、発達した積乱雲が線状に並んだ降水域をいいます。雲の上昇流が

起きている、水蒸気が水滴に成長し、雨となって地上に降り注ぎます。1個の積乱雲の寿命は1時間未満ですが、次々に発生することで、風に流されても大雨が同じ地域に数時間停滞します。

6基のレーダー

高知県は年間降水量が日本トップクラスです。平年値で666㎜は県庁所在地の中で1位。線状降水帯が多く発生する地域でもあります。本学

は全国的にも珍しく、6基の気象レーダーを所有しています。朝倉キャンパスの図書館屋上のほか、東は安芸市、西は土佐清水市に設置しています。

2種類の電波を同時に発する最新レーダーで、大雨の時は気象庁とは違う方法で観測し、雨粒の量や大きさ、雨粒が近づいているか遠ざかっているかなどの情報を得ています。

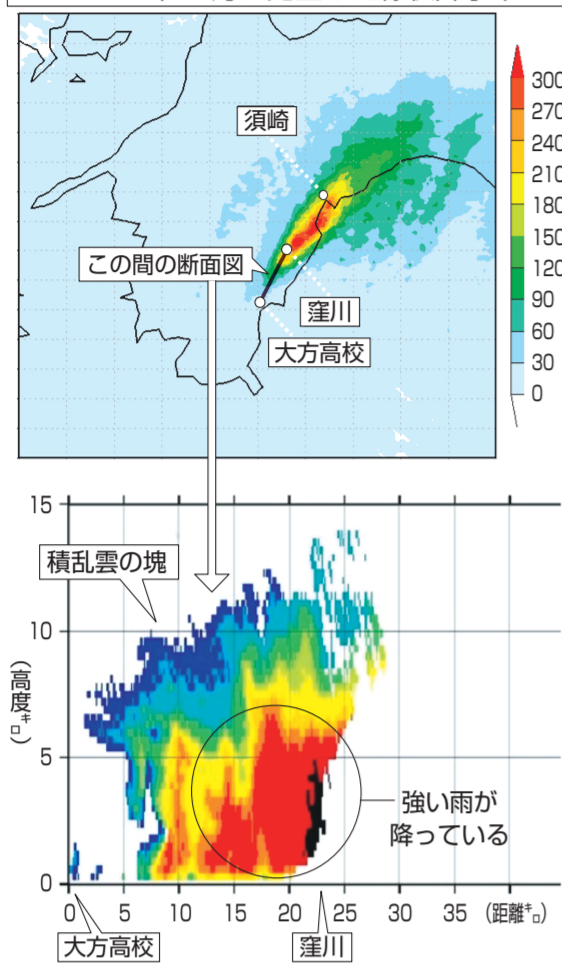
2022年7月5日未明、四万十町、中土佐町、須崎市にまたがって線状降水帯が発生しました。九州の南西に台

理工学部 村田文絵准教授



高知大朝倉キャンパスに設置された気象レーダー。村田文絵准教授は世界の豪雨地帯であるインドやバングラデシュでも研究を行う (写真はいずれも高知市曙町2丁目)

2022年7月に発生した線状降水帯

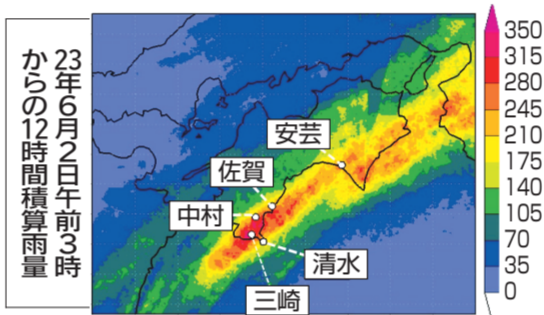


ちょっとビックリ ラジオゾンデ観測



ラジオゾンデ観測を行う気象研究室の学生

風船を飛ばすラジオゾンデ観測を聞いたことがありますか？ 本学では実習で年2、3回飛ばしますが、1回4万円ほどかかります。気象庁は1991年から始めました。現在は南極の昭和基地を含む17カ所から飛ばしています。気象に国境はないため、世界各地で同様に飛ばして情報を共有しています。時間も決まっています。世界標準時であるイギリスの午前0時(日本時間午前9時)と正午(同午後9時)の計2回、毎日飛ばしています。10年以上前から続く原始的な観測ですが、今もこの情報が世界の天気予報の基盤になっているんです。



23年6月2日には、高知から静岡までの太平洋側6県で線状降水帯が発生したのか。地形も影響していると考えられますが、正直理由は分かりませんが、気象庁もこの年の6月から半日予報に取組んでいましたが、予測はできませんでした。

23年6月2日には、高知から静岡までの太平洋側6県で線状降水帯が発生したのか。地形も影響していると考えられますが、正直理由は分かりませんが、気象庁もこの年の6月から半日予報に取組んでいましたが、予測はできませんでした。

現在気象庁を筆頭にオールジャパンで解明に挑んでいます。これまでの調査から、九州地方では梅雨時期に線状降水帯が多く発生すること、高知県では梅雨前線に加え、台風や温帯低気圧、秋雨前線なども影響することが分かってきました。

先の2例は、高知に大きな被害をもたらしました。大雨予想は災害の未然防止につながります。私も多発地帯である高知県で事例を記録分析し、メカニズムの完全解明に貢献したいと思っています。

風があり、四国には南西の風が吹いていました。そんな中、時間当たり100㎜以上降らせる強い積乱雲の塊が突然発生しました。黒潮町の大方高校に設置している大学のレーダーでは、大雨をもたらした積乱雲を立体的に観測しました。なぜこの地域、タイミングで線状降水帯が発生したのか。地形も影響していると考えられますが、正直理由は分かりませんが、気象庁もこの年の6月から半日予報に取組んでいましたが、予測はできませんでした。

23年6月2日には、高知から静岡までの太平洋側6県で線状降水帯が発生したのか。地形も影響していると考えられますが、正直理由は分かりませんが、気象庁もこの年の6月から半日予報に取組んでいましたが、予測はできませんでした。

現在気象庁を筆頭にオールジャパンで解明に挑んでいます。これまでの調査から、九州地方では梅雨時期に線状降水帯が多く発生すること、高知県では梅雨前線に加え、台風や温帯低気圧、秋雨前線なども影響することが分かってきました。

先の2例は、高知に大きな被害をもたらしました。大雨予想は災害の未然防止につながります。私も多発地帯である高知県で事例を記録分析し、メカニズムの完全解明に貢献したいと思っています。

総 賛活動中

技を磨き自分を磨く

推 しスポット

パンでささやかな幸せを

少林寺拳法部

少林寺拳法部は男子7人、女子6人が所属し、週4回、朝倉キャンパスの体育館で練習しています。少林寺拳法は護身術の一種で、相手の攻撃を想定して防御や反撃を行います。技の種類は大きく分けて二つ。拳で突く、足で蹴る「剛法」と、相手の力を利用して投げ技や関節技を決める「柔法」です。大会では主に決めた技を繰り出す演武に出場しています。技の正確性や流れ、気合などが審査されます。単独演武、2人一組の組演武、6人または8人の団体演武などの部門があります。昨年の県大会は、女子の組演武、女子護身技法の組演武、団体演武で優勝して、東京の日本武道館で行われた全国大会に出場しました。トップレベルの技と気合に圧倒され、入賞はかありませんでしたが、各員が大きく成長できました。

僕は大学から拳法を始め、習得した技で周囲の人を守りたいという意識が芽生えました。技術向



向かい合って練習する部員 (高知大朝倉キャンパス)

上はもちろん、精神的に自分自身を高めていけるよう切磋琢磨していきたいと思ひます。(水元 隼 = 人文社会科学部3年)

ポーレチ

「日常にささやかな幸せを…」をコンセプトにしたパン店「Poolete」を切り盛りする岡部高典さん(40)、佳菜さん(38)夫妻。高典さんが県内や広島県尾道市で修業し、2022年に家族3人で高典さんの地元オープンしました。

ベーグルは12種類。塩バターやチーズ、チョコなどを使う中、1番人気は「枝豆とクリームチーズ」(290円)。素材の相性が抜群で、アクセントにブラックペッパーがまぶされています。もちもちの食感に舌鼓を打ち、べろり。

イタリアの日常的な食事で食べられるチャバッタ(315円)は、夫婦いわく「素朴な味で毎日食べても飽きない」こが。

昼時は約40種のパンが並び、「旬の食材を使っているのが季節も感じてほしい」。さりげない心づかいに、夫妻の温かさを感じました。

高知市朝倉東町2の1。営業は火、水、金、土曜で



枝豆とクリームチーズのベーグル=左=とチャバッタを掲げる岡部さん夫妻

午前8時半～。電話088・879・6555。(学生広報スタッフ・宮本夏妃 = 人文社会科学部3年)

◆第4火曜日掲載

高知大学 × 高知新聞 共同編集